

平成29年9月15日

能美市議会議長 倉元 正順 様

基地対策特別委員会
委員長 杉田 隆一

能美市議会基地対策特別委員会行政視察報告書

1. 期 間 平成29年6月28日（水）～29日（木）
2. 視察先 海上自衛隊厚木航空基地（神奈川県綾部市・大和市）
3. 参加者 委員長 杉田 隆一 副委員長 森 善克
 委 員 東 正幸 委 員 米田 敏勝
 委 員 北野 哲 委 員 山本 悟
4. 随 行 議事調査課長 吉田 和司
5. 視察の概要

（1）施設概要

- ・厚木基地は綾瀬市と大和市にまたがる軍用飛行場で、アメリカ海軍と海上自衛隊が共同使用しており、航空管制は海上自衛隊が行っている。
- ・海上自衛隊では厚木航空基地と呼ばれているが、正式には、厚木海軍飛行場と呼称されている。所在地は綾瀬市と大和市であるが、基地の名称は厚木である。この理由については諸説があるが、どの説も説得力を欠き、これといった定説はない。
- ・総面積507万㎡、内海上自衛隊が全体の55%にあたる256万㎡を占めている。滑走路は2438mあり、米軍と海上自衛隊が共同使用している。
- ・人員は約2,000名、家族も含めると、約5,000名の基地関係者が基地及び基地周辺で生活している。
- ・終戦後、マッカーサーが初めて降り立った基地としても知られている。
- ・海上自衛隊は第4航空群、実験航空部隊の第51航空部隊、輸送航空部隊の第61航空隊が配置されている。主力部隊は第4航空群であり、第3航空隊、第4整備補給隊、厚木航空基地隊が所属している。
- ・過去に離着陸の飛行機の墜落事故が何度か発生しているため、リスク回避のため、東名高速道路の滑走路延長線部分に当たる部分をトンネル化（大和トンネル）している。

(2) 活動状況等

- ・米海軍は空母が横須賀港に入港した際、この厚木基地を艦載機基地として訓練を行なっている。

- ・海上自衛隊は、日本海、北海道周辺、東シナ海、日本周辺海域の警戒監視、情報収集を行っている。特に、潜水艦も含めた不審船や領海侵犯などの警戒監視を続けており、最近では北朝鮮からのミサイル発射についても、他への影響や着弾地点の確認などの情報収集を行うなど、監視体制を強めている。また、自然災害など、災害の発生時に被災者や遭難した船舶や航空機の捜索、救助などの活動や、離島での急患の輸送なども随時行っている。平成21年からは、主にソマリア沖、アデン湾における海賊の警戒監視も行っている。

- ・第4航空群ではP-3C哨戒機とP-3Cの後継機でもある最新型で純国産のP-1哨戒機が配備され、運用されている。P-1は、P-3Cに比べ、対潜哨戒能力、航続距離、探知能力、攻撃能力などに優れ、トータルで約1.3倍の性能を持ちながら、エンジン音も静寂であり、現在20機保有しているが、さらに今後、順次P-3C哨戒機をP-1哨戒機に切り替えていくとのことである。

- ・周辺が住宅密集地であるため、従来より特に騒音の問題が大きく、騒音訴訟が周辺住民から何度か起きている。但し、騒音については、海上自衛隊ではなく、米軍の艦載機によるものであり、1982年に夜間離着陸訓練が開始されてからは、周辺住民との騒音問題が大きくなり、そのため1991年からは、夜間離着陸訓練は硫黄島に移された。しかし、昼間の訓練は依然として厚木において行われており、また戦闘機以外の空母艦載機の夜間離着陸訓練も厚木基地で行われているため、今日にいたるまで騒音問題は続いている。しかし、在日米軍再編計画により、来年の5月までに、ヘリ以外の艦載機61機が岩国基地へ移駐することが決まり、厚木基地は海上自衛隊専用の航空基地となる予定であることから、移駐後は騒音問題が大きく改善することが期待されている。

(3) まとめ

- ・厚木基地は太平洋側にあるが、日本海も活動の範囲となっている。特に、最近では日本海においても不審船、領海侵犯が多く、重要性が増している。さらに、ここ最近頻発している北朝鮮によるミサイル発射については、石川県の方向に向けての発射が多く、特に能美市は海に面しており、現時点で最大の脅威である北朝鮮とも相対している。現在の国際情勢から判断しても、いつ何が起きても不思議ではなく、常時危機管理意識は必要であり、万が一の事態も想定しなくてはならない。

そういった意味では、小松基地との連携はもとより、日本海における監視体制、安全確保の面からも、厚木基地を含む海上自衛隊の役割を認識し、合わせて連携も

視野に入れていく必要がある。

哨戒機については、順次切り替えていきたいとのことであるが、性能面からは当然であるが、より騒音や故障の少ない純国産のP-1哨戒機に、出来る限り早急に切り替え、周辺住民からの信頼向上を図るとともに、さらなる日本海周辺海域の安全・安心のために大いに活躍されることを期待したい。